診療環境を POSITIVE PRACTICE ENVIRONMENTS に変える

…エビデンスに基づいたチェックリストを使用して、診療環境の質を評価し、欠陥を特定し、優先するギャップに対処するための戦略を開発することで、診療環境を POSITIVE PRACTICE ENVIRONMENTS に変えます。

背景コンテキスト

世界的な医療従事者の危機について

現在の世界的な医療従事者の危機は致命的に進行な状態です。

世界保健機関(WHO)は、2030 年までに 1,800 万人の医療従事者が不足すると予測しています。あまりにも多くの国、特にアフリカやアジア地域では、医療専門家が絶望的に不足しており、人々の健康アウトカムと医療従事者の well-being に悪影響を与えています。その理由は複雑です。顕著な理由としては、ほとんどの医療従事者の職場環境の質の低さであり、それが医療サービスの提供を弱め、医療従事者がケアを提供する役割や国から遠ざける原因となっています。

世界的な医療従事者の危機への解決策

Positive Practice Environments とは、卓越し適正な労働条件をサポートする医療環境のことです。そららは、スタッフをひきつけ、維持し、患者の満足度、安全性、健康アウトカムを向上させ、費用対効果の高い、人を中心とした医療サービスを提供する力を持っています。

医療専門家は、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジと持続可能な開発目標のために定義された野心的な目標を達成するためのカギを握っています。医療従事者、管理者、患者、政策・意思決定者、地域社会のリーダーなど、すべての医療セクターのアクターは、質の高いケアを提供できる職場を作るためのコミットメントと行動に参加することが奨励されています。個人は、地域的に変化をもたらし、地域や国際的な政策や実践にポジティブな変化をもたらすことができます。

STAND UP FOR POSITIVE PRACTICE ENVIRONMENTS

Endorsed by

POSITIVE PRACTICE ENVIRONMENTS のチェックリスト

専門職の認識とエンパワーメント。

パフォーマンスを向上させ、専門職としての自己価値を構築するために

- 医療専門家が提供するあらゆる能力とスキルミックスを認識し、これらの能力を十分に活用できるように支援する。
- プロフェッショナルオートノミーを促進し、実践と仕事のペースをコントロールする。
- 従業員の貢献とパフォーマンスを認め、報酬を与える。
- 従業員の満足度を定期的に評価する。
- 医療専門家が知識と能力の範囲内で仕事をし、労働力不足によって起きているギャップに対処が可能になるように行動する。
- 専門職間の協力体制を奨励し、施設全体で最高の質の高いケアを提供する。

診療とインセンティブの管理

医療従事者が自分の仕事、専門職、そして国に留まることを可能にし、奨励すること。

- 機会均等と公正な待遇を約束する。
- 教育、経験、専門家としての責任に見合った適切でタイムリーな報酬を提供する。
- 効果的なパフォーマンス管理システムを維持する。
- 適切かつ柔軟なインセンティブと福利厚生を提供する。
- 従業員の診療、職場環境、患者ケアに影響を与える計画、ガバナンス、意思決定に従業員を参加させる。
- 作業設計と作業組織の継続的な評価と改善に従業員を関与させる。
- 医療の環境とそのコミュニティにおいて、オープンなコミュニケーション、同僚性、チームワークおよび支持的な関係を奨励する。
- 相互信頼、公平性、尊敬の文化を醸成する。
- 職業上の違法行為（ハラスメント、暴力、差別など）、医療制度内でのプロセスの不備、法律や規制の違反などの報告を積極的に奨励する方針と手順を採用する。
- 明確で包括的な職務記述書／仕様書を提供する
- 意思決定プロセスの透明性を促進する（該当する場合）。
- 効果的な苦情・苦情処理手順が確実に実施されていることを確認する。
- 効果的なマネジメントとリーダーシップの実践を示す。
- 雇用主/従業員/共同作業員/患者間の強い雇用関係を促進する。

STAND UP FOR POSITIVE PRACTICE ENVIRONMENTS

職場の健康と安全

従業員の安全を確保し、健康で意欲的な生産性を維持するために。

- 安全な人員配置レベルを順守する。
- 職場の危険、差別、身体的・心理的暴力、個人の安全保障に関する問題に対処するために、労働衛生、安全、ウェルネスの方針とプログラムを採用する。
- 健康と職場環境に投資する。
- 安全な労働条件を確保するための規制の枠組みを順守する。
- 適切な機器、備品、サポートスタッフへのアクセスを提供する。
- 公正で管理可能な仕事量、仕事の需要/ストレス、柔軟な勤務形態をサポートする方針やプログラムを通じて、健康的なワークライフバランスを促進する。
- より良い労働環境とアウトカムを促進するために、スタッフ内および雇用主/従業員/同僚/患者の間で、文化的適応性に関する意識を促進する。
- 雇用の安定と仕事の予測可能性を提供する。
- 従業員が包括的な倫理規範の下で診療することを保証する。
- 明確にコミュニケーションをとり、診療の基準を守る。
- 定期的に診療の範囲と能力を見直す。

教育と情報

学び、発展し、進歩し、命を救う機会を提供する。

- 専門的なトレーニング、開発、キャリアアップの機会をサポートする。
- 新入社員のための徹底したオリエンテーションプログラムを提供する。
- 効果的な監督、メンタリング、ピアコーチングプログラムを促進する。貢献とパフォーマンス。

STAND UP FOR POSITIVE PRACTICE ENVIRONMENTS

あなたのヘルスケアの職場環境を見てみましょう。PPE チェックリストを使って、職場の長所と短所、組織風土、労働条件を理解しましょう。スタッフの採用/定着率、患者のアウトカム、医療部門のパフォーマンスにプラスの影響を与えているというエビデンスを通して、健康的で支援的な職場環境について、管理者、他の医療専門家、患者に訴えましょう。POSITIVE PRACTICE ENVIRONMENTS の原則を確立し、医療施設や国の医療セクター全体に適用し、ポジティブなモデルを確立して推進し、支援策を導入しましょう。レジリエンスの高い持続可能な医療システムを推進するための効果的な戦略を支援し、成功を祝いましょう。

STAND UP FOR POSITIVE PRACTICE ENVIRONMENTS

STAND UP FOR
POSITIVE PRACTICE ENVIRONMENTS

事例を作る

管理者、他の医療専門家、患者と、スタッフの採用/維持、患者のアウトカムと医療部門のパフォーマンスにプラスの影響のエビデンスを通して、健康的で支持される職場環境のために、それを公表し、発表し、それについて対話しましょう。

あなたのヘルスケア作業環境を見てみましょう

Positive Practice Environments チェックリストを使用して、職場の強みと弱み、組織風土、労働条件を理解します。

Positive Practice Environments の原則を適用する

あなたの医療施設と国民の保健部門を横断して、ポジティブモデルの確立と推進、支援政策の導入を行います。

成功を祝いましょう

回復力がある持続可能な健康システムを促進する効果的な戦略を支援するために。

STAND UP FOR
POSITIVE PRACTICE ENVIRONMENTS

非公式日本語訳
Unofficial Japanese translation prepared by JHPH
原文:https://www.whpa.org/activities/positive-practice-environments から

他の人たちと協力して、意識を高め、変化を起こし、変化をもたらすための同盟関係を構築しましょう。

Positive Practice Environments について、より多くのエビデンスを提供します。人事管理、労働安全衛生、職業能力開発などの優れた実践事例のカタログを検討します。

あなたのポジティブな行動を私たちと共有して、他の人にも刺激を与えてください。
メールでのお問い合わせ：info@whpa.org

質の高いケアのための質の高い職場づくりに向けて、コミットメントと行動を共にしていきましょう。

REFERENCES

Aiken, L. H., et al. (2008). Effects of hospital care environment on patient mortality and nurse outcomes. The Journal of nursing administration, 38(5), 223–229.

Aluttis C, et al. The workforce for health in a globalized context--global shortages and international migration. Glob Health Action. 2014 Feb 13;7:23611.

Anand S, et al. Human resources and health outcomes: Cross-country econometric study. The Lancet 2004; 364: 1603–9.

Campbell J, et al. Human resources for health and universal health coverage: fostering equity and effective coverage. Bull World Health Organ. 2013 Nov 1;91(11):853-63. 10.2471/BLT.13.118729. PMID: 24347710; PMCID: PMC3853950.

Coats D, et al. Healthy work: productive workplaces Why the UK needs more “good jobs”. The Work Foundation and the London Health Commission. 2005 December 1. Global Health Security Agenda. Workforce development action package.
https://ghsagenda.org/home/action-packages/workforce-development/
(accessed 19 December 2019).

Jimba M, et al. Health workforce: the critical pathway to universal health coverage. Montreux: First Global Symposium on Health Systems Research; 2010.
http://healthsystemsresearch.org/hsr2010/images/stories/10health_workforce.pdf
(accessed 19 December 2019).

Kane RL, et al (2007). Nursing Staffing and Quality of Patient Care. Rockville, MD: Agency for Healthcare Quality and Research; 07-E005.

Koehoorn M, et al. CPRN discussion paper: creating high-quality health care workplaces. Discussion paper. No. W/14. Canadian Policy Research Networks. 2002.
https://www.longwoods.com/content/18293
(accessed 19 December 2019).

WHO, Framework on integrated, people-centred health services. Geneva: World Health Organisation: 2016.
http://apps.who.int/gb/ebwha/pdf_-files/WHA69/A69_39-en.pdf?ua=1
(accessed 19 December 2019).

WHO, Global strategy on human resources for health: workforce 2030. Geneva: World Health Organisation; 2016
(https://www.who.int/hrh/resources/pub_globstrathrh-2030/en/
(accessed 19 December 2019).

STAND UP FOR POSITIVE PRACTICE ENVIRONMENTS